

電話

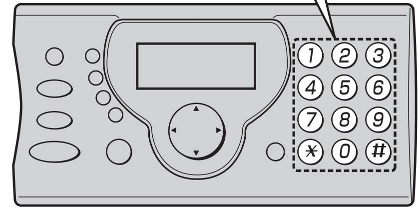
ページ



電話をかける

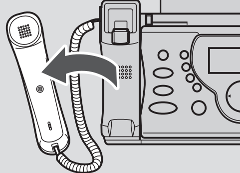
親機で電話をかけるときの操作です。





 親機で電話をかける 

1 受話器を取る



●ダイヤルボタンが点灯します。（ダイヤルライト）

2 「ツー」という音が聞こえたら**ダイヤルする**

0312345678 

●まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能 ☞2-5ページ）



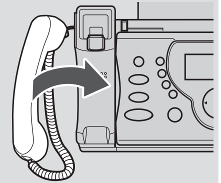
3 相手の方とお話しする



●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0：30 

4 通話が終わったら**受話器を戻す**





■ **途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **電話がかけられないときは（☞8-15ページ）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（☞9-6ページ）を「ナシ」にします。

■ **通話中にファクスを受信するときは**

親機で通話中のときは FAXスタート/決定 、子機で通話中のときは 機能 を押します。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-23ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ **読上げボイスダイヤル機能を解除するときは（☞2-5ページ）**

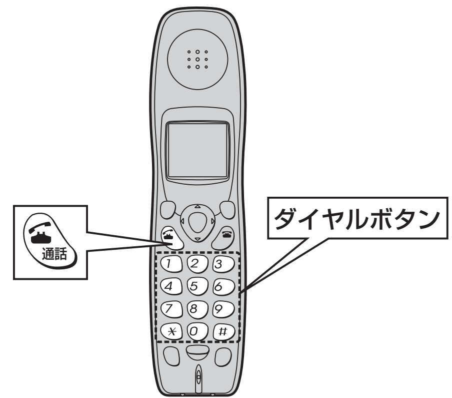
■ **受話器を取らずに電話をかけるときは**

オンフック を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは受話器を取ってお話しください。

お知らせ

- 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。
- 電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用のときは、ご自分の電話番号が相手の方に通知（表示）されます。通知する/しないは、現在お選びの番号通知方法によって異なります。
- 受話器を上げたり、オンフックボタンやダイヤルボタンを押すと、ダイヤルボタンが約５秒間点灯します。（ダイヤルライト）約５秒たつと消えますが、続けて上記の操作をするとまた点灯します。
- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。

子機で電話をかけるときの操作です。

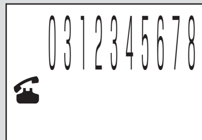


子機で電話をかける

1 充電器から取って
（通話）**を押す**

●通話ボタンが点灯します。

2 「ツー」という音が
聞こえたら
ダイヤルする



●まちがい電話を防ぐために、ダイヤルするときは、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

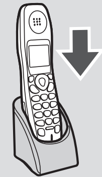
3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。





4 通話が終わったら
充電器に戻す



●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

●通話時間の表示は、約 5 秒後に消えます。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■ **「ピーピー」音が聞こえるときは**
（☞8-26ページ）

■ **子機を取らずに電話をかけるときは**

（オンフック）を押してからダイヤルします。

スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは子機を取ってお話しください。

お知らせ

- ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
- 親機でコピー中のときは、子機で電話をかけることはできません。
- 子機で電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

読上げボイスダイヤル機能を利用する

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を、スピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）
工場出荷時は、読上げボイスダイヤルが設定されています。



  読上げボイスダイヤル機能を解除／設定する 

1 受話器を上げるか、オンフック を押してから、再生/読上げダイヤル を押す

●読上げボイスダイヤルが設定されているときは、上記の操作で読上げボイスダイヤルが解除されます。

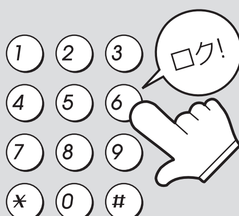
ヨミアゲ゛ ダ゛ イヤル　カイジ゛ョ

●読上げボイスダイヤルが解除されているときは、上記の操作で読上げボイスダイヤルが設定されます。

ヨミアゲ゛ ダ゛ イヤル　セッテイ

読上げボイスダイヤル機能が設定されているとき

●受話器を取るか オンフック を押してからダイヤルすると、押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。



ボタンの読み方

1 ア	「イチ」	8 ヤ	「ハチ」
2 カ	「ニ」	9 ラ	「キュウ」
3 サ	「サン」	0 ワ	「ゼロ」
4 タ	「ヨン」	トーン ＊	「スター」
5 ナ	「ゴ」	#	「シャープ」
6 ハ	「ロク」	再ダイヤル	「ポーズ」
7 マ	「ナナ」		

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-23ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

お知らせ

● 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
● ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を解除／設定することはできません。



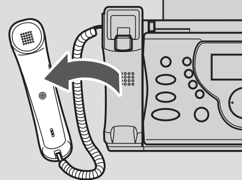
電話を受ける

親機で電話を受けるときの操作です。



 親機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る



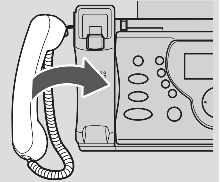
2 相手の方とお話しする



●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

```
   0:30
チャクシン　ツウワ
```

3 通話が終わったら
受話器を戻す



■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（親機の呼出音量を変える ☞1-23ページ）

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「ナシ」にします。（☞9-6ページ）

■ **通話中にファクスを受信するときは**
（☞2-3ページ）

お知らせ

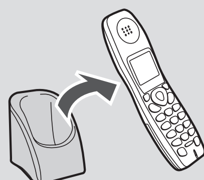
- 電話がかかってきたとき、親機のダイヤルボタンが点滅します。
- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞7-2～7-23ページ）
- 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の呼出音が鳴って、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。



 子機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
充電器から取る

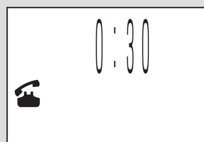


- 充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

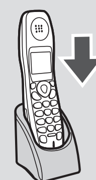
2 **相手の方とお話しする**



- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。



3 通話が終わったら
充電器に戻す



- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
- 通話時間の表示は、約 5 秒後に消えます。

■ **呼出音が鳴っているときに音を「切」にするときは**

呼出音が鳴っているときに （切）を押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）
次に電話がかかってきたときは、もとの設定している呼出音が鳴ります。

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（子機の呼出音量を変える ☞1-24ページ）

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「ナシ」にします。（☞9-6ページ）

お知らせ

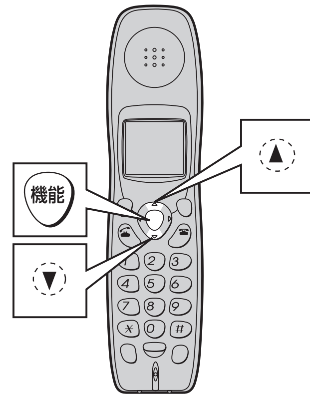
- 子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。（クイック通話 ☞6-11ページ）
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞7-2〜7-23ページ）
- 親機でコピー中のときは、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。



子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに呼出音が鳴ります。





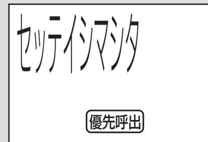
優先呼出を設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1  **を押す**



2 ▲ または ▼ で「ユウセンヨビダシ」を選んだあと、機能 を押す



● 「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 と表示されて、優先呼出が設定されます。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

■ 優先呼出を解除するときは

ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、手順1～2の操作をします。

「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が、消えます。







優先呼出の表示が消えます

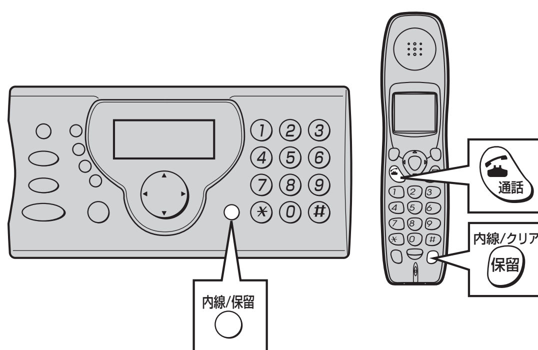
お知らせ

- 設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、1台のみです。UX-F12CWをご利用時やUX-F12CLに子機を増設しているときで、すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「ピピピピ」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると、優先呼出 の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。優先呼出 を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
- 優先呼出を設定しているときは、親機や他の子機で電話を受けることはできません。
- 優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。
- 親機でコピー中のときは、優先呼出を設定していても、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。コピー終了後は、子機で受けることができます。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディーを流します。
（曲名：「ビューティフル・ドリーマー」）





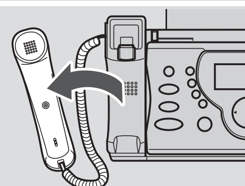
 親機で通話中にお待たせする

1 通話中に 内線/保留 ◯ **を押して、受話器を戻す**

```
  0：30
ホリュウ中
```

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは **受話器を取る**

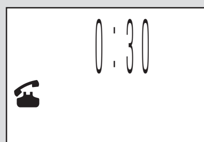


●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

●受話器を戻さなかったときは、もう一度、内線/保留ボタンを押すと、再び通話できます。

 子機で通話中にお待たせする

1 通話中に 内線/クリア 保留 **を押す**



●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

●通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは 通話 **または** 内線/クリア 保留 **を押す**

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

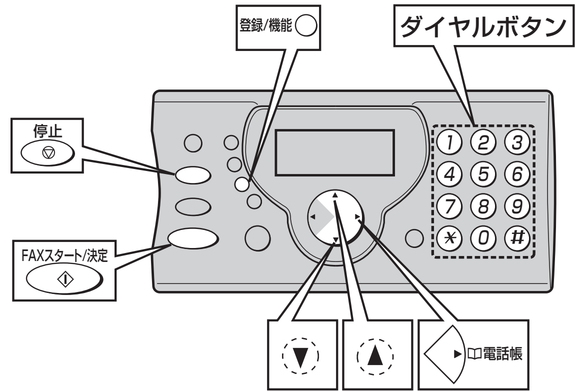
●通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送　☞2-28ページ）



親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。
親機では最大100人分の番号を登録することができます。
また、登録した電話帳の番号や名前を修正することもできます。





親機の電話帳に登録する

1 登録/機能 **を押す**

〈トウロク/キノウ〉
1：ショキ　トウロク

2 ▲ **または** ▼ **で「デンワチョウ」を選び** FAXスタート/決定 **を押す**

〈デ゛ンワチョウ〉
1：トウロク　2：テンソウ

3 「トウロク」を選び FAXスタート/決定 **を押す**

アイテメイ　トウロク　　カ ナ

4 名前を入れる（最大20文字）
（☞1-31～1-33ページ）

アイテメイ　トウロク　　カ ナ
イケダ゛　サトシ

●名前の入力を省略するときは、FAXスタート/決定ボタンを押して手順6に進みます。名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。

5 FAXスタート/決定 **を押す**

バ゛ンゴ゛ウ　トウロク
NO. =

6 電話番号を入れる（最大32ケタ）

バ゛ンゴ゛ウ　トウロク
NO. =0312345678

●番号を入れまちがえたときは、キャッチ/消去ボタンを押すと、1つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせるとき（☞7-14～7-16ページ）は、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。

7 FAXスタート/決定 **を押す**

トウロク　シマシタ

●続けて登録するときは手順4～7をくり返し行ってください。

8 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

キャッチ/消去 を押します。

■ 親機の電話帳の内容を1件ずつ消すときは

① 電話帳 を押す
② ▲ または ▼ で消去したい相手の方を選んだあと、キャッチ/消去 を押す
③ もう一度、キャッチ/消去 を押す
④ 停止 を押す

■ 親機の電話帳の内容をすべて消去するには（☞9-4ページ）

■ 登録した内容を確認するときは

電話番号リストをプリントします。

（操作方法1）

① 登録/機能 を押す
② ▲ または ▼ で「インサツ」を選び FAXスタート/決定 を押す
③ 「デンワバンゴウリスト」を選ぶ
④ FAXスタート/決定 を押す

（操作方法2）

① 電話帳 を押す
② コピー/印刷 を押す

■ 親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞2-15ページ）

■ ポーズについて

1回目に（再ダイヤル）ボタンを押すと、約4秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、2回目以降から約2秒間の待ち時間ができます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

お知らせ

- 親機の電話帳には、あらかじめ次の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫ジホウ	117
≫テンキヨホウ	177
≫デンワアンナイ	104

- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストをプリントして、確かめてください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞7-14～7-16ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」、「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞7-2ページ）や着信鳴り分け（☞7-14～7-16ページ）が働かなくなります。
- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。



 親機に登録した名前や番号を修正する

1 ◁▷電話帳 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で修正する相手の方を選ぶ**

```
イケダ゛ サトシ
0312345678
```

3 登録/機能○ **を押す**

```
アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ゛ サトシ
```

4 名前を入れ直す
(☞1-31～1-33ページ)

```
アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ゛ マサル
```

●名前を修正しないときは手順５に進んでください。

5 FAXスタート/決定 **を押す**

```
バ゛ンゴ゛ウ トウロク
NO. =0312345678
```

6 電話番号を入れ直す

```
バ゛ンゴ゛ウ トウロク
NO. =09087654321
```

●キャッチ/消去ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。

●電話番号を修正しないときは手順７に進んでください。

7 FAXスタート/決定 **を押す**

```
トウロク シマシタ
```

●待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

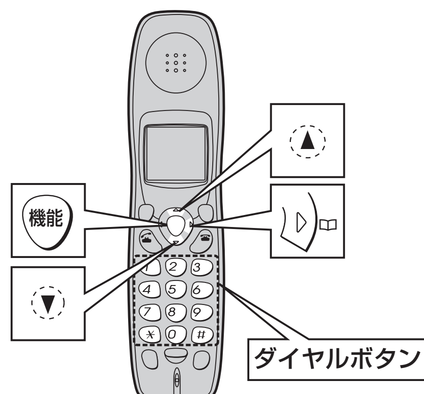
■ **1つ前に戻るときは**

キャッチ/消去○ を押します。

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくと、マルチファンクションキーで相手の方を選んで電話をかけることができます。
子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。
また、登録した電話帳の番号は修正することもできます。

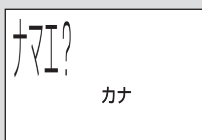




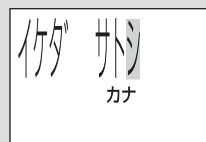
子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1  **を押す**

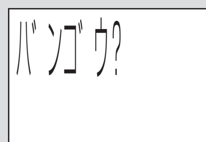


2 名前を入れる（最大12文字）
（☞1-34～1-36ページ）

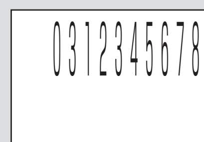


●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順４に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。
（12ケタまで）

3 機能 を押す



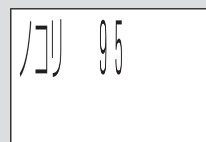
4 電話番号を入れる（最大16ケタ）



●番号を入れまちがえたときは内線/クリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。

●内線/クリアボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。

5 機能 を押す



●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

●続けて登録するときは手順１～５をくり返し行ってください。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **電話帳の内容を消すときは**

① ▲ または ▼ で相手の方を選んだあと、機能 を押す

② ▲ または ▼ で「ショウキョ」を選んだあと、機能 を２回押す
「ピー」と鳴り消去が完了します。

■ **子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞2-16ページ）**

■ **ポーズについて**

１回目に ❐（再ダイヤル）ボタンを押すと、約４秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、２回目以降から約２秒間の待ち時間ができます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

 子機に登録した番号を修正する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **▲ または ▼ で相手の方を選んだあと、機能 を 2 回押す**

バンゴウヘンコウ

2 **電話番号を入れ直す**

0387654321

●内線/クリアボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。

●内線/クリアボタンを 2 秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

3 **機能 を押す**

ノコリ 95

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

お知らせ

● 子機の電話帳にはあらかじめ、3 人分の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫ジホウ	117
≫テンキヨホウ	177
≫バンゴウアンナイ	104

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。

● ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞7-14～7-16ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。

● 市外局番の前に「184」、「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞ 7-2 ページ）や着信鳴り分け（☞7-14～7-16ページ）が働かなくなります。

● 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。

● 子機に登録した名前を修正することはできません。

電話帳を転送する



親機で登録した電話帳を子機にまた、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。
電話帳を転送すると電話帳の内容が転送先に追加されます。

 親機の電話帳を子機に転送する

1 登録/機能○ を押す

〈トウロク／キノウ〉
1：ショキ　トウロク

2 ▲ または ▼ で「デンワチョウ」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈デ゛ンワチョウ〉
1：トウロク　2：テンソウ

3 ▲ または ▼ で「テンソウ」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈テンソウ〉
1：ゼ゛ンケン　テンソウ

すべて転送するときは

4 「ゼンケンテンソウ」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈ゼ゛ンケン　テンソウ〉
1：コキ1ヘテンソウ

1件ずつ転送するときは

4 ▲ または ▼ で「1ケンゴトテンソウ」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈テンソウ〉
イケダ゛　サトシ

↓

▲ または ▼ で転送したい相手の方を選び FAXスタート/決定 を押す

〈テンソウ〉
1：コキ1ヘテンソウ

5 ▲ または ▼ で転送先の子機を選び FAXスタート/決定 を押す

（ただし、17ケタ以上の番号で登録しているデータは転送できません。）

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

キャッチ/消去○ を押します。

■ **「テンソウデキナイデータガアリマス ソウサヲツヅケマスカ」と表示されたときは**

この表示は17ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。
FAXスタート/決定 を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

 お知らせ

- 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号（天気予報、時報、番号案内）を転送することはできません。
- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
  ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 転送しても親機や子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送しても親機や子機に登録されていた電話帳の内容は消えません。



 子機の電話帳をすべて親機に転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押す

2 ▲ または ▼ で「デンワチョウテンソウ」を選んだあと、機能 を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。

●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

 子機の電話帳を1件ずつ親機に転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ▲ または ▼ で転送したい相手の方を選んだあと、機能 を押す

バンゴウヘンコウ

2 ▲ または ▼ で「デンワチョウテンソウ」を選んだあと、機能 を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。

●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

■ **途中でやめるときは**

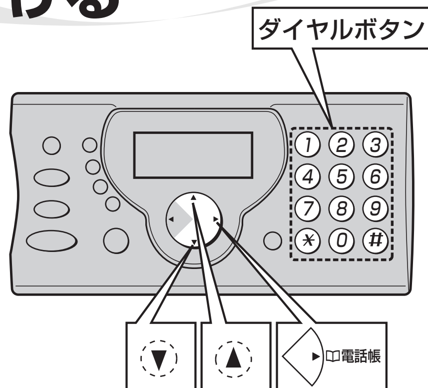
切 を押します。

 お知らせ

- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
  ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 転送しても親機や子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送しても親機や子機に登録されていた電話帳の内容は消えません。

親機の電話帳で電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。電話帳は、頭文字をもとに数字（0～9）→英字（A～Z）→50音の順に並べられています。
名前の頭文字を選んで相手の方を選ぶこともできます。



親機の電話帳で電話をかける

受話器を置いたまま操作します。

1 **◇電話帳を押してから、▲または▼で相手の方を選ぶ**



イケダ゛　サトシ 0312345678

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

2 **受話器を取る**

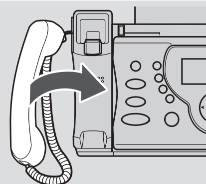
イケダ゛　サトシ 0312345678

●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

3 **相手の方とお話しする**



4 通話が終わったら**受話器を戻す**



■ **途中でやめるときは**

・相手の方を選んでいるときは 停止 を押します。
・通話中は受話器を戻します。

■ **受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは（184や186などをつけて電話をかけるとき）**

① 受話器を取る
（184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは、このあと「184」や「186」をダイヤルします。親機が発信中のときは、②～⑤の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑤の操作を行ってください。）

② ◇電話帳 を押したあと、▲または▼で相手の方を選ぶ

③ FAXスタート/決定 を押す



④ 相手の方とお話しする

⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

お知らせ

● 電話帳から自動的に電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。（「184」などダイヤルした番号では働きます。）



親機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける

1 電話帳 **を押す**

デ゛ンワチョウ	6ケン
（ノコリ	94ケン）

2 相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する

イケダ゛　サトシ
0312345678

●選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。

●探す相手の方が選ばれていないときは、▲または▼で選びます。

3 受話器を取る

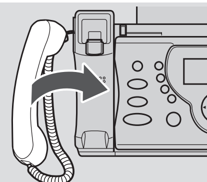
イケダ゛　サトシ
0312345678

●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

4 相手の方とお話しする



5 通話が終わったら **受話器を戻す**

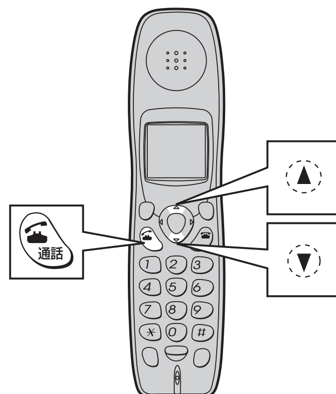


■ **途中でやめるときは**

・相手の方を選んでいるときは 停止 を押します。
・通話中は受話器を戻します。

子機の電話帳で電話をかける

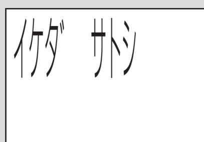
電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順



子機の電話帳で電話をかける

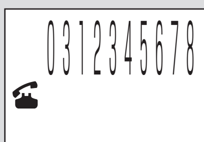
通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ▲ または ▼ で相手の方を選ぶ



●▶を押すと電話番号を表示して確認することができます。

2  **を押す**



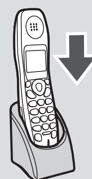
●通話ボタンが点灯します。

●ダイヤルを始めます。

3 相手の方とお話しする



4 通話が終わったら **充電器に戻す**



●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■**17ケタ以上の番号をダイヤルするとき**

電話帳には、電話番号を最大16ケタまでしか登録できません。17ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。（チェーンダイヤル機能）

① 手順1～2または「子機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける」（☞2-20ページ）の手順1～4を行い、最初の番号をダイヤルする

② ▶ を押す

③ 手順1または「子機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける」（☞2-20ページ）の手順1～4を行い、次のダイヤルをする

お知らせ

● 親機でコピー中のときは、子機で電話をかけることはできません。

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。

  子機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける 

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1  **を押す**

ナマエ?
カナ

2 相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する

（例）「イ」で探す：
1ア を 2 回押す

イ
カナ

3  **を押す**

イケダ゛ サトシ

●入力した文字から始まる相手の方を表示します。

●該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

4 ▲ または ▼ で相手の方を選んだあと、  **を押す**

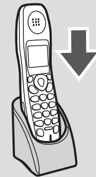
0312345678

●相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

5 相手の方とお話しする



6 通話が終わったら **充電器に戻す**



●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

ホットラインダイヤルを利用する

子機ではよく電話をかける相手の方をホットラインダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。（ホットラインダイヤル）
ホットラインダイヤルを登録するにはあらかじめ子機の電話帳に登録しておく必要があります。(☞2-13ページ)

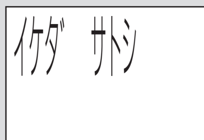


 電話帳からホットラインダイヤルに登録する



通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **▲または▼で登録したい相手の方を電話帳から選んだあと、ホットラインダイヤルを押す**



● 「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

2  **を押す**



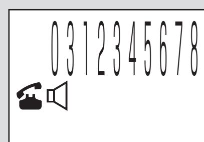
 ホットラインダイヤルで電話をかける



通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **ホットラインダイヤルを押す**

●通話ボタンが点灯し自動的にダイヤルを始めます。



2 相手の方が電話に出たら **オンフック 発信/を押して相手の方とお話しする**



3 通話が終わったら **切を押す**

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■ **ホットラインダイヤルの登録を消すときは**

 を２秒以上押します。
（「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録を解除します。）

 **お知らせ**

● ホットラインダイヤルの登録は、それぞれの子機に1つです。親機には登録できません。
● 通話ボタンを押したあと、ホットラインダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができます。

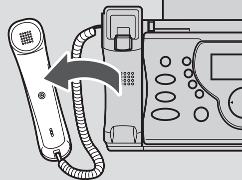


電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号が１件記憶されています。
子機では、最大3件記憶されています。

 親機で電話をかけ直す

1 受話器を取る



2 「ツー」という音が聞こえたら

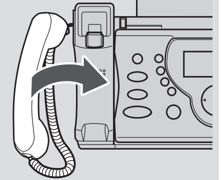
再ダイヤル を押す

イケダ　サトシ
0312345678

- 親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
- まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
- 最後にかけた相手の方に電話をかけます。

3 通話が終わったら

受話器を戻す



■ 途中でやめるときは

受話器を戻します。

■ 親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは

受話器を置いたまま操作します。

① 再ダイヤル を押す
② キャッチ/消去 を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

お知らせ

- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
- 再ダイヤルで電話をかけ直すときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

 子機で電話をかけ直す

1 子機を充電器から取って［◁］を押す

0312345678

●最後にかけた相手の方が表示されます。

2 ［▲］または［▼］で選んだあと、［通話］を押す

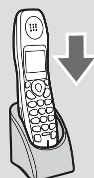
09087654321

●子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

3 相手の方とお話しする



4 通話が終わったら **充電器に戻す**



●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ 途中でやめるときは

［切］を押します。

■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① ［機能］を押す

② ［▲］または［▼］で「サイダイヤルクリア」を選んだあと、［機能］を押す

③ もう一度、［機能］を押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

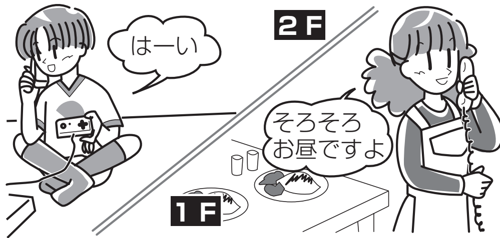
お知らせ

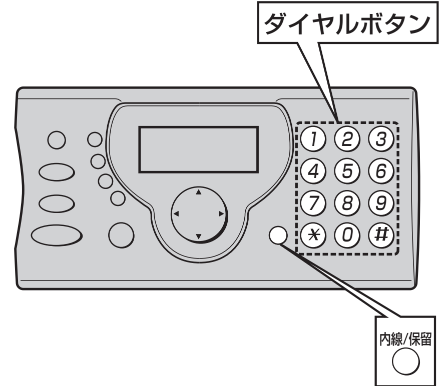
- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
- 子機の再ダイヤルの記録を、１件ずつ消去することはできません。
- 親機でコピー中は、子機で電話をかけることはできません。



親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出して、お話しします。





親機から子機を呼び出してお話しする

1 親機

受話器を取って 内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

（例）子機１のとき ①

コキ ヨビダシ　1

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

呼出音が鳴ったら

充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

お話しする

4 お話し終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら**

親機と子機それぞれに呼出音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）

② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

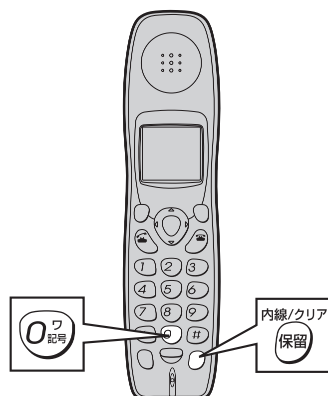
① 切 を押す（内線通話が切れます。）

② 子機の呼出音が鳴り始めたら、通話 を押す
（外の相手の方と通話できます。）

お知らせ

● 内線通話では、保留はできません。
● 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
● 内線通話のときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機から親機を呼び出してお話しします。



子機から親機を呼び出してお話しする




1 
子 機

子機を充電器から取って

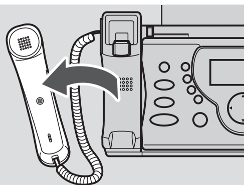
内線/クリア 保留 **を押し、親機の内線番号**

0 わ 記号 **を押す**

●通話ボタンが点滅します。

2 
親 機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る



3 
親 機　子 機

お話しする



4 お話し終わったら

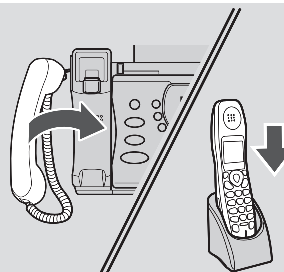

親 機

受話器を戻す


子 機

充電器に戻す

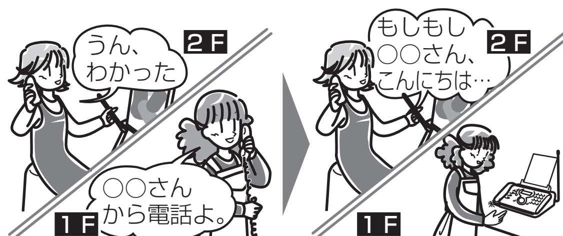
●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

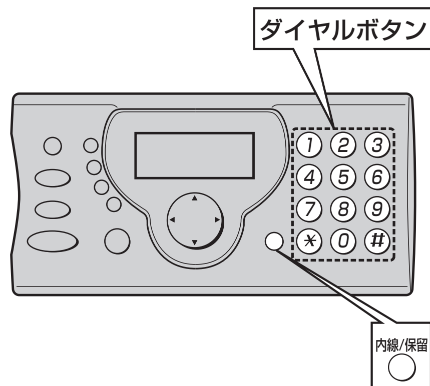




電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。





親機から子機へとりつぐ

1 親機

通話中に 内線/保留 ◯ **を押し、子機の内線番号を押す**

内線/保留 ◯ ▶ ①
（例）子機１のとき

- ●相手の方には、保留メロディーが流れます。
- ●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- ●子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

- ●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- ●通話ボタンが点灯します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて
受話器を戻す

- ●受話器を置くと、子機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**

次の（操作方法１）または（操作方法２）の操作をします。

（操作方法１）

① 内線/保留 ◯ を押す（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度 内線/保留 ◯ を押す（相手の方との通話に戻ります。）

（操作方法２）

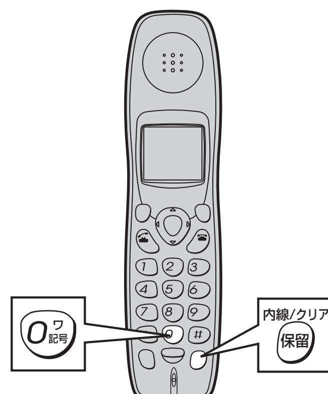
① 受話器を戻す

② 再度、受話器を取る（相手の方との通話に戻ります。）

お知らせ

- ● とりつぎ転送するときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。



子機から親機へとりつぐ

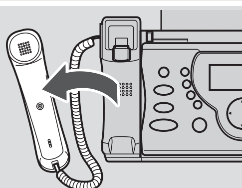
1 子機

通話中に 内線/クリア(保留) **を押し、親機の内線番号 (0 わ 記号) を押す**

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

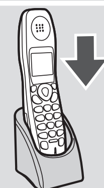
呼出音が鳴ったら **受話器を取る**



●子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐことを伝えて充電器に戻す



●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

●このあと、親機で外の方とお話しできます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**

① 内線/クリア(保留) を押す（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度 内線/クリア(保留) を押す（相手の方との通話に戻ります。）



電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
また、UX-F12CWをご利用時または、UX-F12CLで子機を増設されたときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

  親機から子機へとりつぐ

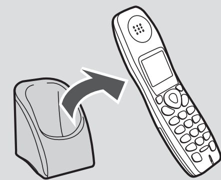
1  親機

通話中に 内線/保留 ◯ **を押し、受話器を戻す**

```
   0：30
ホリュウ中
```

2  子機

充電器から取る



●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

  子機から親機へとりつぐ

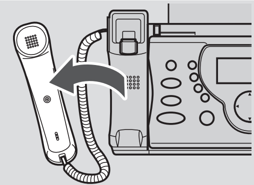
1  子機

子機で通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、**
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2  親機

保留音が鳴ったら
受話器を取る



●相手の方とお話しできます。

 子機から子機へとりつぐ

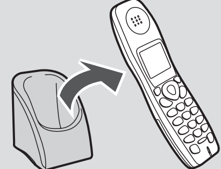
1  子機

子機で通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、**
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2  他の子機

充電器から取って 通話 を押す



●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）



UX-F12CWをお使いのときや、UX-F12CLに子機を増設してお使いのときは、子機から子機へメッセージを伝えることができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

子機から子機へメッセージを伝える

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 **を押す**

2 子機

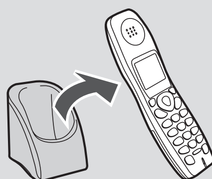
呼び出したい子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機が応答するまで「プププ・・・・」と鳴ります。

3 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、

充電器から取る



- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点滅します。

4 子機

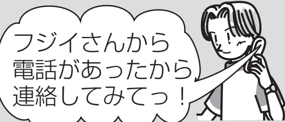
呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）



- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる



6 子機

メッセージが終わったら

切 **を押す**

- この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。



子機から子機へ転送する（ひと声転送）

UX-F12CWをお使いのときや、UX-F12CLに子機を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて、他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

子機から他の子機へ転送する(ひと声転送)

1  子機

子機で外線通話中に

 **を押す**

2  子機

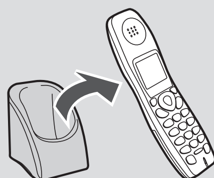
呼び出したい子機の内線番号を押す

- 外線通話中の相手の方には保留メロディが流れます。
- 呼び出した子機が応答するまで「プププ・・・・」と鳴ります。
- 通話ボタンが点滅します。

3  呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、

充電器から取る



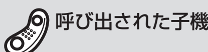
- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

4  子機

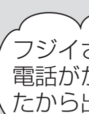
呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）



- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5  呼び出された子機

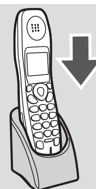
メッセージが聞こえる



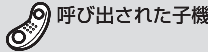
6  子機

メッセージを話し終わったら

子機を充電器に戻す



- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

7  呼び出された子機

通話 **を押す**

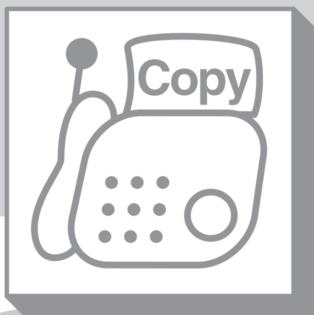
または

内線/クリア 保留 **を押す**

- 外の相手の方と通話できます。

■ **呼び出している子機が出ないときは**

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外の相手の方との通話に戻ります。



コピー

ページ

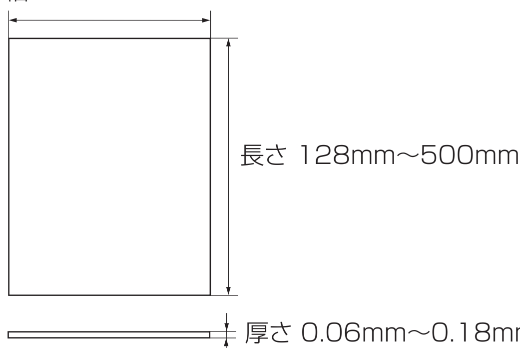
3

コピーやファクスをする前に

原稿は、一度に10枚までセットできます。



■ **セットできる原稿のサイズ**

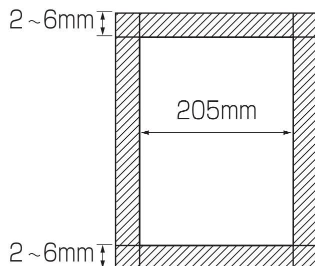


● コピーするときは記録紙がA4サイズなのでA4サイズの原稿（210mm×297mm）までしかプリントできません。
ただし、A4サイズの長さを超える原稿をA4サイズに分割してコピーすることができます。（分割コピー ☞9-8ページ）

■ **原稿を読み取れる範囲**

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

● 最大読み取り幅　205mm
● 最大読み取り長　送信原稿長
(128〜500mm)から上下とも2〜6mmを引いた長さ



■ **一度に 2 枚以上セットできない原稿**

● 長さ297mmを超える原稿
● 厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788×1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
● 厚さや大きさの異なる原稿

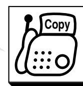
■ **そのままではセットできない原稿**

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

● サイズが規定より小さすぎるもの
（例：写真など）
● フィルム状のもの
● 紙の厚さが薄すぎるもの
● しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
● 裏カーボン紙、感熱紙など
● コーティングされているもの

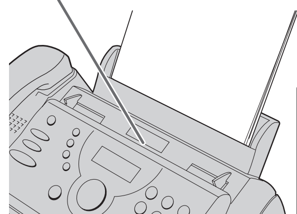
お知らせ

● クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
● 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。（汚れたときは ☞8-3、8-5ページ）
● 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。「原稿がつまったときは」を参照して取り出してください。（☞8-6ページ）



コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に10枚まで）



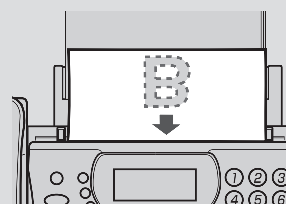


  原稿をセットする 

1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



2 原稿はウラ向きに！コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に10枚まで）



●原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

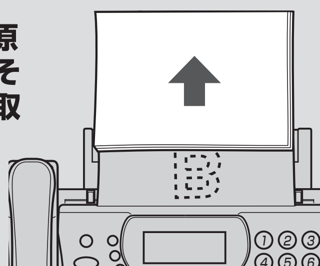
■ 11枚以上の原稿があるとき

10枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送られて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

  セットした原稿を取り出す（原稿排出） 

記録紙をセットしているときは記録紙を取り出してから操作します。

1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

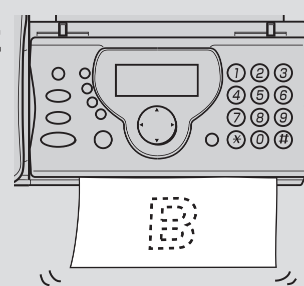


●原稿が１枚だけのときは、そのまま手順２へ進みます。

2 登録/機能○ を押して、▲または▼で「ゲンコウハイシュツ」を選び、FAXスタート/決定 を押す

ｹﾞﾝｺｳ ﾊｲｼｭﾂ中

3 原稿が自動的に排出される

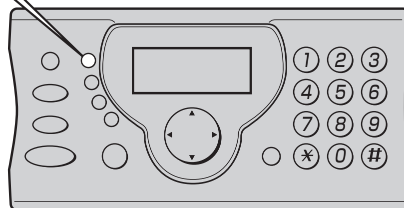


●原稿が排出されないときは（☞8-6ページ）



原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選んでコピーやファクスができます。





 画質・濃度を選ぶ

画質/カナ○を押すたびに切り替わる

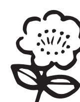
フツウジ゛

● 1 回押すと「フツウジ」を表示します。画質・濃度を表示中にもう 1 回押すと切り替わります。

「フツウジ」 → 「チイサナジ」 → 「セイサイ」 → 「シャシン」 → 「フツウジ：コク」 → 「チイサナジ：コク」 → 「セイサイ：コク」 → 「シャシン：コク」 → 「フツウジ」

一巡すると「コク」を表示し、濃度が変わります。

「フツウジ」「フツウジ：コク」
●文字が大きくはっきり見えるときに選びます。



「チイサナジ」「チイサナジ：コク」
●文字が小さな字のときに選びます。（「フツウジ」の 2 倍の密度で読み取ります。）画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。



「セイサイ」「セイサイ：コク」
●細い線を使った図面や、更に小さな字のときに選びます。（「フツウジ」の 4 倍の密度で読み取ります。）受信側に「セイサイ」が無いときは、自動的に「チイサナジ」に切り替わります。コピーのときは選べません。



「シャシン」「シャシン：コク」
●濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。



●原稿の文字などが薄いときは「コク」を選びます。

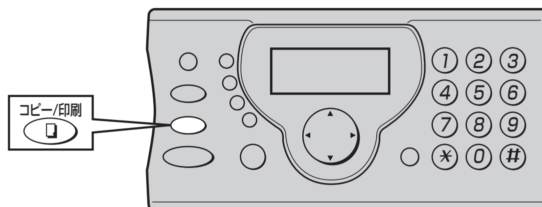
お知らせ

● 「フツウジ」に比べると、「チイサナジ」「セイサイ」「シャシン」で送るとファクスの送信時間が長くかかります。
● コピーをするときは、「フツウジ」や「セイサイ」を選んでも、「チイサナジ」でコピーされます。また「フツウジ：コク」や「セイサイ：コク」を選んでも、「チイサナジ：コク」でコピーされます。
● ファクスを送信するときに画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」が選ばれます。
● ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
● 「チイサナジ」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。

コピーする

一度に10枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

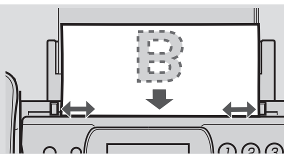




等倍でコピーする

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする





- コピーする面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「チイサナジ」でコピーします。

2 コピー/印刷 **を押す**

コピ゜ー中　（A４）　Ｐ．　１

- コピーが始まります。

■ 途中でやめるときは

 を押します。
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

■ コピーの途中で画質を切り替えるときは

コピー中に 画質/カナ を押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません。）

■ 拡大コピー／縮小コピー／マルチコピーをするときは（☞3-6ページ）

■ 原稿がつまったときは（☞8-6ページ）

■ 記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）

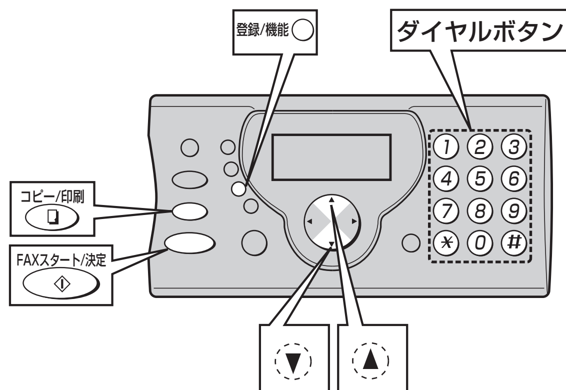
お知らせ

- 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- 通話中にコピーを始めることはできません。
- コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。親機のオンフックボタンを押しても、相手からの声は聞こえますが、お話しできません。
- コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。
- 停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。



コピーの種類を選んでコピーする

拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚コピー（マルチコピー）などができます。



  **コピーの種類を選んでコピーする** 

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**



●コピーする面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）

●画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「チイサナジ」でコピーします。

2 登録/機能○ **を押し、▲または▼で「コピーセッテイ」を選び、**FAXスタート/決定 **を押す**

```
〈コピ゜ーセッテイ〉
1：カクダ゛イ　　140%
```

3 ▲**または**▼**でコピーの種類を選び、**FAXスタート/決定 **を押す**

●コピーが始まります。

●コピー終了後、等倍に戻ります。

手順3のときに……

「カクダイ140%」を選んだとき

140%に拡大してコピーします。



「シュクショウ80%」を選んだとき

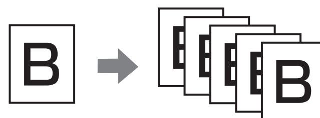
80%に縮小してコピーします。



「マルチコピー」を選んだとき

複数枚のコピーをします。

①～⑤を押して枚数を入力し、最後に FAXスタート/決定 を押すとコピーします。（最大5枚）



■ **マルチコピーのときにコピー枚数をまちがえたときは**

キャッチ/消去○ を押してもう一度、枚数を入力します。

■ **等倍コピーをするときは（☞3-5ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

■ **記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ

- メモリー受信したデータがあるときは、拡大／縮小、マルチコピーはできません。
- 拡大・縮小、マルチコピーでは、画像をいったんメモリーに読み込みます。メモリー容量が少なくなって「メモリーザンリョウ　フソク」と表示されたときは、通常の等倍コピーでコピーしてください。（☞3-5ページ）
- コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。親機のオンフックボタンを押しても、お話しできません。
- コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。



ファクス

ページ

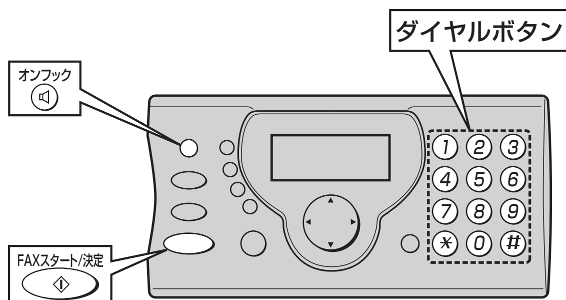
4



ファクスを送る

ファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に10枚までセットできます。
相手の方のファクシミリがファクス専用のときやお話ししないで送るときは、オンフックボタンを押します。





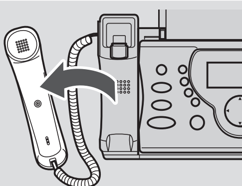
親機でお話ししてからファクスを送る

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする



- 送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 受話器を取る



- ダイヤルボタンが点灯します。（ダイヤルライト）
- 相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは（☞4-3ページ）

3 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

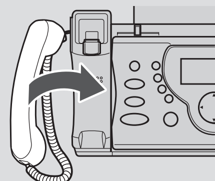
0312345678

- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）各ボタンの音声については、2-5ページの音声一覧をご覧ください。

4 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて
FAXスタート/決定 **を押す**

- 相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
- 相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）
  ※回線の状態でおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたらFAXスタート/決定ボタンを押してください。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。☞8-6ページ）

5 受話器を戻す



- ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

受話器を戻します。（オンフック を押してダイヤルしたときは オンフック を押します。

■ **11枚以上の原稿があるときは（☞3-3ページ）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞8-24ページ）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（☞3-3ページ）**

■ **子機の操作でファクスを送るときは（☞4-4ページ）**

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**

「シュウリョウオン」（☞9-6ページ）で切り替えます。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

■ **おまかせ送信とは**

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-23ページ）

■ **読上げボイスダイヤル機能を解除するときは（☞2-5ページ）**

  親機でお話ししないでそのままファクスを送る 

1 原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする

原稿挿入口

- 送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 オンフック **を押す**

オンフック　ダ゛イヤルモード゛

3 「ツー」という音が聞こえたら

ダイヤルする

0312345678

- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）
  各ボタンの音声については、2-5ページの音声一覧をご覧ください。

4 電話がつながったら

FAXスタート/決定 **を押す**

- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。☞8-6ページ）
- ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

オンフック を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

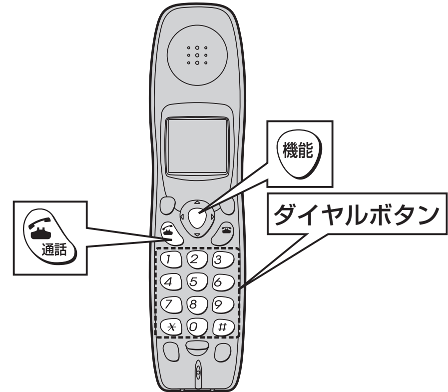
お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「オウトウ　ガ　アリマセン」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「お話ししてからファクスを送る」（☞4-2ページ）の方法で送信してください。
- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
- 相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」という音が聞こえます。
- 読上げボイスダイヤル機能の発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。



親機にセットした原稿を、子機でダイヤルしてファクスを送信できます。

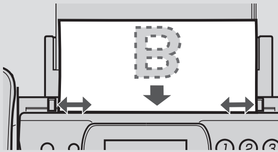


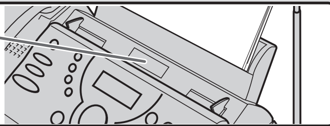


子機の操作でファクスを送る

1 親機

原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

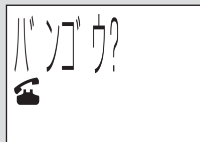




- 送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 子機

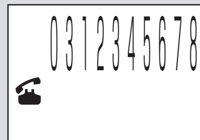
通話 **を押す**



- 通話ボタンが点灯します。

3 子機

「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする



- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

4 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

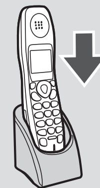
機能 **を押す**

- 機能ボタンを押すと、親機がファクスを送り始めます
- 相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信　☞4-3ページ）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたら機能ボタンを押してください。

5 子機

充電器に戻す



■ 途中でやめるときは

切 を押します。

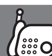
■ 原稿がつまったときは（☞8-6ページ）

ファクス　ファクスを送る



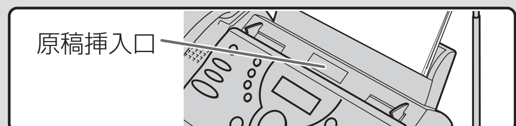
海外へファクスを送る

時差など考えて上手にご利用ください。

 海外へファクスを送る

（例）アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする



- 送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 受話器を取る

3 電話会社の識別番号をダイヤルする

XXXX

- 「マイライン」「マイラインプラス」を契約されているときはダイヤルする必要はありません。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）
  各ボタンの音声については、2-5ページの音声一覧をご覧ください。

4 010をダイヤルする

XXXX010

5 国番号を入れる

（例）アメリカ
①

XXXX0101

6 市外局番を入れる

（例）②①②

XXXX0101212

- 最初にくる「0」は必要ありません。

7 ファクス番号をダイヤルする

XX01012121234567

（例）①②③-④⑤⑥⑦

8 電話がつながったら
FAXスタート/決定を押す

- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。☞8-6ページ）
- 相手の方が電話に出る前にFAXスタート/決定ボタンを押すとファクス送信ができないことがあります。

9 受話器を戻す

■ **途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

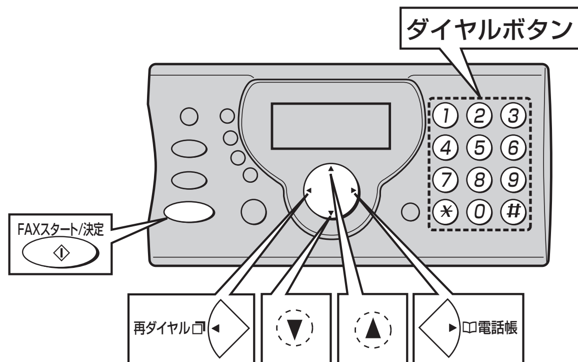
お知らせ

- 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状況がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。
- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。



電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。
親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分の番号を登録できます。(☞2-10～2-14ページ)
相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。



  親機の電話帳や再ダイヤルでファクスを送る 

受話器を置いたまま操作します。

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

原稿挿入口

- ●送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- ●画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

電話帳でファクスを送るとき

2 **電話帳 を押してから、▲ または ▼ で相手の方を選ぶ**

```
イケダ゛ サトシ
0312345678
```

- ●ディスプレイで相手の方を確かめます。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 **再ダイヤル を押す**

```
〈サイダ゛イヤル〉
イケダ゛ サトシ
```

- ●ディスプレイで相手の方の名前（番号）を確認します。

3 **FAXスタート/決定 を押す**

- ●自動的に送信を始めます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞8-24ページ）**

■ **受話器を取ってファクスを送るときは**

① 受話器を取る
② 「ツー」という音を確かめたあと、

電話帳で送るときは、
電話帳 を押して、▲ または ▼ で相手の方を選び、FAXスタート/決定 を押す

再ダイヤルで送るときは、
再ダイヤル を押す

③ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら）FAXスタート/決定 を押す
④ 受話器を戻す

■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは**

受話器を置いたまま操作します
① 再ダイヤル を押す
② キャッチ/消去 を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去される

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

 お知らせ

- ● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
- ● 電話帳や再ダイヤルから自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。



名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

親機の電話帳から名前の頭文字を探してファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

原稿挿入口

- 送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

2 ▶電話帳 **を押す**

```
デ゛ンワチョウ          6ケン
     (ノコリ    94ケン)
```

3 **相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する**

```
イケダ゛  サトシ
0312345678
```

- 選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。
- 探す相手の方が選ばれていないときは、▲ または ▼ で選びます。

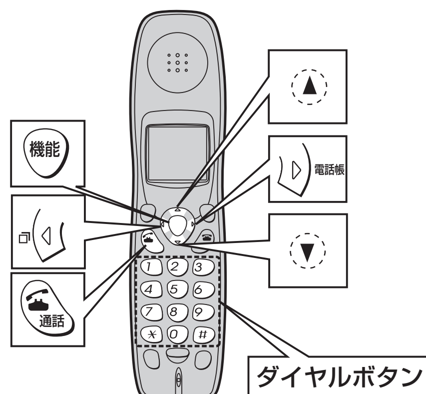
4 FAXスタート/決定 **を押す**

- 選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。
- 相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「オウトウ　ガ　アリマセン」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「お話ししてからファクスを送る」（☞4-2ページ）の方法で送信してください。

親機にセットした原稿を、子機の電話帳や再ダイヤルを使ってファクスを送ることができます。



  子機の電話帳や再ダイヤルでファクスを送る 

1 親機

原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする

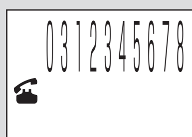
原稿挿入口

●送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

電話帳でファクスを送るとき

2 子機

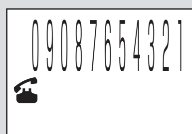
▲または▼で相手の方を選んだあと、通話を押す



再ダイヤルでファクスを送るとき

2 子機

◁を押したあと、▲または▼で相手の方を選び、通話を押す



■ **途中でやめるときは**
手順3を行うまでの間に 切 を押します。

3 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

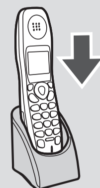
機能 を押す

●機能ボタンを押すと、親機がファクスを送り始めます。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 ☞4-3ページ）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

4 子機

充電器に戻す



■ **子機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（☞2-23ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

お知らせ

● 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
● 子機で再ダイヤルできるのは、24ケタまでです。



子機の電話帳から名前の頭文字を探してファクスを送る

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 親機

原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする

原稿挿入口

●送信する面を下にして 原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 子機

を押す

ナマエ？
カナ

3 子機

相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する

（例）「イ」で探す：

1ア を 2 回押す

イ
カナ

4 子機

▼ を押す

イケダ　サトシ

●入力した文字から始まる相手の方を表示します。
●該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

5 子機

▲ または ▼ で相手の方を選んだあと、通話 を押す

0312345678

●相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

6 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

機能 を押す

●機能ボタンを押すと、親機がファクスを送り始めます。

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。

●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 ☞4-3ページ）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

7 子機

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**



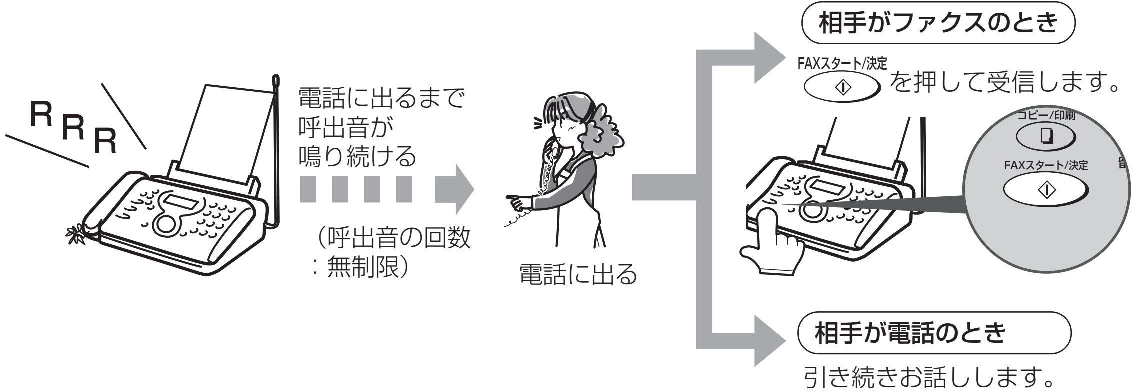
ファクスの受けかた

ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の2つの種類があります。

在宅モード（家にいるとき）

■在宅モード時の操作（☞4-12ページ）

●ご購入時、呼出音の回数は「ムセイゲン」になっています。



一定の呼出音が鳴った（1～25回）あと、ファクス受信に切り替えることもできます。（☞4-14～4-15ページ）
ただし、相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご利用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。FAXスタート/決定ボタンを押して受信してください。

ファクス

ファクスの受けかた

お知らせ

● 呼出音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。また、応答メッセージを流さないように設定することはできません。（応答メッセージが流れている間に受話器を取ると話すことができます。）



留守モード（留守にするとき）

■留守モード時の動作（☞5-2～5-3ページ）



設定した回数の呼出音が鳴る

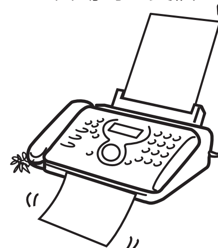
（呼出音の回数：4回）

※呼出音の回数は変更できます。（☞5-3ページ）
※お買いあげ時、呼出音の回数は「4回」になっています。

応答メッセージが流れる
「ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件を…」

相手がファクスのとき

相手がスタートボタンを押すと自動的に受信します。



相手が電話のとき

通常の留守番電話の動作になります。

もしもし
山田です。…



送られてきた原稿は、プリントするとき、縦方向に約93%に縮小します。

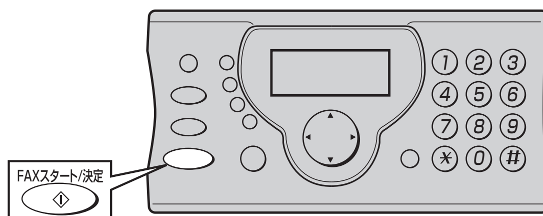
ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、縦方向に約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**受信縮小率**の設定（☞9-7ページ）を「トウバイ」にします。
※ただし、「トウバイ」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に1対1にならない場合があります。



ファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。

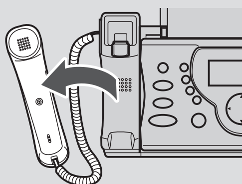




電話に出てからファクスを受ける（在宅モード時）

原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

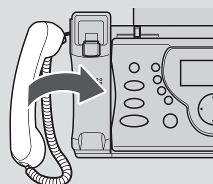


2 ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて
FAXスタート/決定 **を押す**

●受信が始まります。

●受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります。（おまかせ受信）

3 受話器を戻す



●ファクス受信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ おまかせ受信について

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
（「おまかせ受信」を解除するには ☞9-6ページ）

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー…」という音が聞こえたら FAXスタート/決定（子機使用中のときは 機能）を押してください。

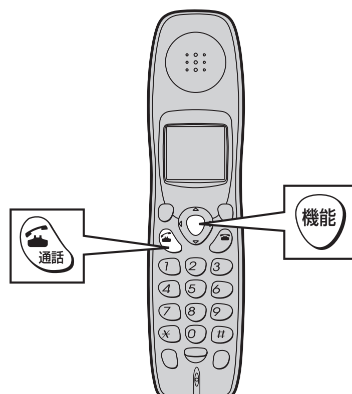
■ 記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）

■ 呼出音が一定の回数（１～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えるときは（☞4-14～4-15ページ）

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定したコール回数が鳴り「ポー・ポー…」という音を検出すると、ファクス受信に切り替わります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたい場合は、「在宅モード時のコール回数」を６回以下に設定してください。
７回以上に設定されると相手の方が自動送信をされたときなどは、ファクスに切り替わりません。
また、相手の方が手動送信のときは、相手の方が送信の操作（スタートボタンを押す）をしたときだけファクス受信できます。



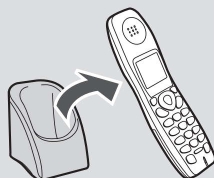




子機の操作でファクスを受ける

親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

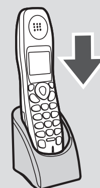
1 呼出音が鳴ったら、
充電器から取る



●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
(機能)を押して、充電器に戻す



●親機に原稿がセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
（「おまかせ受信」を解除するには ☞9-6ページ）
※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは、「ポー・ポー…」という音が聞こえたら(機能)を押してください。

■ **記録紙がつまったときは****（☞8-7ページ）**

お知らせ

● キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。

● コピー中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話ください。

● 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、親機のFAXスタート/決定ボタンまたは、子機の機能ボタンを押してください。



呼出音の回数を設定（☞4-15ページ）すると、一定の呼出音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

一定の呼出音が鳴ったあと、ファクス受信する（在宅モード）

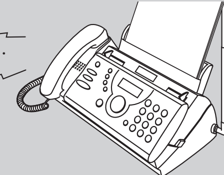
相手側

こちら側（呼出音の回数を6回に設定しているとき）

電話をかけている
（電話をかけたあと、ファクスを送ろうとしている）



呼出音が鳴る



呼出音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
通話したあと、ファクスを受信するには、FAXスタート/決定を押してから受話器を戻してください。

プルルル(1回目)
・
・
プルルル(6回目)

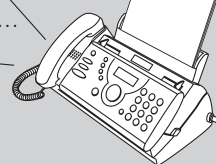
プルルル(1回目)
・
・
プルルル(6回目)

固定応答メッセージが流れる

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。」



6回鳴っても電話に出ないとファクスから自動的に
固定応答メッセージが流れる



応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

相手の方がスタートボタンを押す



「ポー・ポー…」という音を検出すると
ファクスを受信します



お知らせ

- 呼出音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信や、ダイヤルしたあと、すぐにスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わりません。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、すぐに電話に出ないでファクスを受けたいときは、「在宅モード時コール回数」を6回以下に設定してください。（☞4-15ページ）
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（☞5-2～5-3ページ）
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご利用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。このようなときは受話器を取ってから、FAXスタート/決定ボタンを押して受信してください。



 呼出音の回数を変える（在宅モード時）

受話器を置いたまま操作します

1 登録/機能 を押す

〈トウロク／キノウ〉
1：ショキ　トウロク

2 ▲ または ▼ で「オヤキヨビダシオン」を選び、FAXスタート/決定 を押す

〈オヤキ　ヨビ゛ダ゛シオン〉
1：ヨビ゛ダ゛シ　カイスウ

3 「ヨビダシカイスウ」を選び、FAXスタート/決定 を押す

〈ヨビ゛ダ゛シ　カイスウ〉
1：ザ゛イタクジ゛　コールスウ

4 「ザイタクジコールスウ」を選び、FAXスタート/決定 を押す

〈ザ゛イタクジ゛　コールスウ〉
2：ムセイゲ゛ン　ヨビ゛ダ゛シ

5 ▲ または ▼ で「カイスウセンタク」を選び、FAXスタート/決定 を押す

〈カイスウ　センタク〉
01－25　ヲ　ニュウリョク

6 呼出音の回数を入力する（01～25回）

（例）０６回 ⓪⑥

〈カイスウ　センタク〉
ザ゛イタクジ゛　コール＝06カイ

7 FAXスタート/決定 を押す

06　カイ　ニ　シマシタ

8 停止 を押す

■ **「ムセイゲンヨビダシ」になっているときは**
呼出音が鳴り続けて、応答しません。
（はじめは「無制限呼出」になっています。）

■ **受信できない状態のときは**
呼出音が鳴り続けて、応答しません。

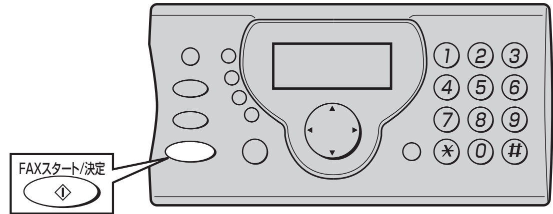
■ **呼出音の種類を変えるときは（☞1-25ページ）**



メモリー受信したファクスをプリントする

ファクスを受信したとき、記録紙やインクリボンがなくなっていると、受信したデータはプリントされずにメモリーに保存されます。これをプリントするときは、下記の操作を行ってください。





  保存されているメモリー受信データをプリントする 

メモリーに受信したデータが保存されているときは、下のようにディスプレイ表示されます。

```
 2月27日 9：00AM
ジ゛ュシンデ゛ータガ゛アリマス
```

次の手順でプリントします。あらかじめ、記録紙とインクリボンをセットしておいてください。

1 FAXスタート/決定 **を押す**

```
メモリーマイスウ   1マイ
キロクシヲセットシテ［ケッテイ］
```

●ディスプレイにメモリー受信している枚数が表示されます。

2 記録紙やインクリボンをセットして FAXスタート/決定 **を押す**

●すべての受信データのプリントを開始します。プリントが終わると受信データが消えます。

■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから（☞8-7ページ）、インクリボンを交換（☞8-8〜8-10ページ）してください。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

 **お知らせ**

● 受信プリント（☞9-7ページ）の設定を「シュドウ」にしていると、ファクスを受信するたびに、受信内容はメモリーに保存されます。このときも上記の操作でプリントしてください。



■ **メモリー受信枚数について**

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「フツウジ」で約22枚までメモリー受信できます。（原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。）
受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

■ **メモリーがいっぱいになったときは**
（「メモリー受信」の設定が「ジドウ」のとき）

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになり、メモリーを使わない受信モードに自動的に切り替わります。再送されたときなどは、メモリーに記録せずに記録紙にプリントします。

お知らせ

● 「メモリー受信」の設定（☞4-18ページ）を「シナイ」にすると、
- ・受信したファクス内容によっては、記録紙の途中で分断されてプリントすることがあります。
- ・通信速度がメモリー受信のときよりも遅くなることがあります。



親機をもっと便利に使う

コピーやファクスをもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

親機で設定します

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの ▲ または ▼ で選びます。

工場出荷時は ［網掛け］ に設定されています。

メモリー受信

はたらき	いったんメモリーで受信します。記録紙やインクリボンがなくなったときは、受信した内容はメモリーに記録しています。 ・**スル**　メモリーで受信します。 ・**シナイ**　直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。 ・**ジドウ**　メモリー受信中にメモリーがいっぱいになると次に受信するときに、メモリー受信しないで直接、記録紙にプリントします。
手順	登録/機能 ➡ 「**ショウサイセッテイ**」を選ぶ ➡ FAXスタート/決定 ➡ 「**メモリージュシン**」を選ぶ ➡➡ FAXスタート/決定 ➡ 1：スル／2：シナイ／3：ジドウ から選ぶ ➡ FAXスタート/決定 ➡ 停止

キータッチ音

はたらき	親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**アリ**　親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**ナシ**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。
手順	登録/機能 ➡ 「**ショウサイセッテイ**」を選ぶ ➡ FAXスタート/決定 ➡ 「**キータッチオン**」を選ぶ ➡➡ FAXスタート/決定 ➡ 1：アリ／2：ナシ のどちらかを選ぶ ➡ FAXスタート/決定 ➡ 停止

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

キャッチ/消去 を押します。



留守番電話

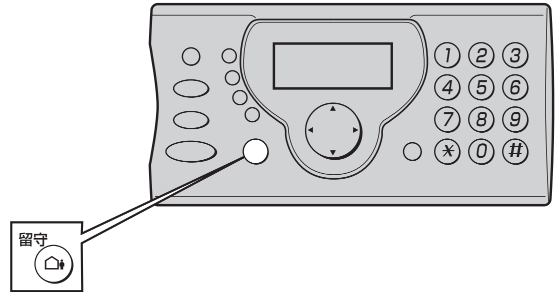
5



留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、1件につき最大約3分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約12分間または、30件までです。







留守に設定する

1 留守ボタンを押す

コテイ　オウトウ　メッセージ

●固定応答メッセージが流れます。
●録音できる残り時間が5分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

■ 自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）にするときは

① あらかじめ応答メッセージを録音する（☞5-8ページ）
② 留守ボタンを押す
③ 固定応答メッセージが流れている間に # を押す

■ オリジナルメッセージを選んだときは

いったん留守設定したときに、オリジナルメッセージを選んでおくと、次に留守設定したときも、オリジナルメッセージになります。

■ オリジナルメッセージから固定メッセージにするときは

① 留守ボタンを押す
② オリジナルメッセージが流れている間に ＊（トーン）を押す

■ 固定メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは

はじめは2秒に設定されています。1秒または4秒に変更することができます。
（発信音待ち時間　☞9-6ページ）

お知らせ

● オリジナルメッセージを選んだときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。（☞5-3ページ）
● 録音時間が残り1分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（☞5-7ページ）
● ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
● 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「ジュシンデータガアリマス」と表示されます。（☞4-16ページ）



固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボンがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	呼出音が鳴り続けて、応答しません。

■ 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ 応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）

応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を設定します。

① 登録/機能○ を押す
② ▲または▼で「オヤキヨビダシオン」を選び、FAXスタート/決定 を押す
③「ヨビダシカイスウ」を選び、FAXスタート/決定 を押す
④ ▲または▼で「ルスモードコールカイスウ」を選び、FAXスタート/決定 を押す
⑤ ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回〜25回）
⑥ FAXスタート/決定 を押す
⑦ 停止 を押す

■ 留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）

留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。

① 登録/機能○ を押す
② # を4回押す
③ FAXスタート/決定 を押す
④「ルスロクモード」を選び、FAXスタート/決定 を押す
⑤ ▲または▼で「オコエハイチョウ」を選び、FAXスタート/決定 を押す
⑥ ▲または▼で「アリ」または「ナシ」を選び、FAXスタート/決定 を押す
⑦ 停止 を押す

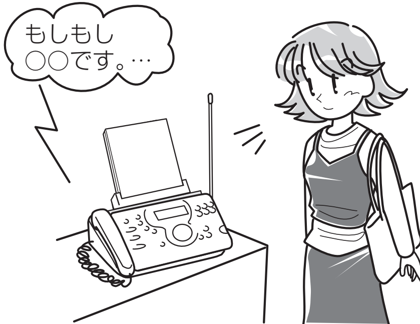
お知らせ

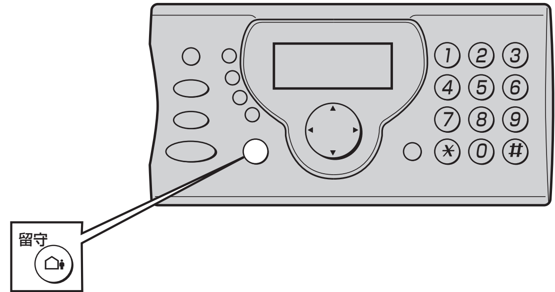
- 応答メッセージが流れている間や録音している間に受話器を取ると、通話できます。（親機、子機とも）
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、ファクスをメモリー受信することや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。また、メモリーがいっぱいで記録紙がないときは、呼出音が鳴り続けて自動応答しません。そのときは、記録紙をセットしてメモリー受信データをプリントするか（☞4-16ページ）、不要な録音を消去してください。（☞5-7ページ）
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。



留守設定を解除して録音内容を聞く

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。





  留守設定を解除して留守録を聞く 

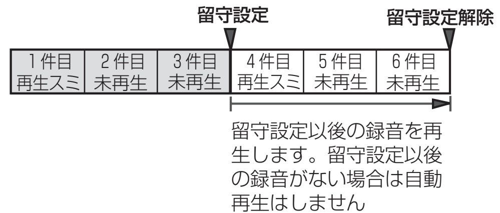
1 留守 を押す

```
 2月27日  4:45PM   1
ルスセッテイ
```

録音されている件数が表示されます。

- 留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に１回再生します。
- 再生中は5-5ページと同じ操作で「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます。
- 録音内容を１件再生するごとに、録音された時刻を音声でお知らせします。（タイムスタンプ）
- 留守設定を解除しなくても、留守録を聞くことができます。（☞5-5ページ）

留守設定以降の再生について



■ **再生を途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **ディスプレイが点滅しているときは**

- 留守に設定中にディスプレイが点滅しているときは、新しく入った録音があります。
  また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも「ミサイセイロクオンガアリマス」と表示されているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、留守録）があります。
  再生/読上げダイヤル を押して約３秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。（☞5-5ページ）
- まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音内容を再生する」（☞5-5ページ）の操作をします。

■ **親機のディスプレイに「ジュシンデータガアリマス」と表示しているときは**

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データをプリントすると「ジュシンデータガアリマス」の表示が消えます。（☞4-16ページ）

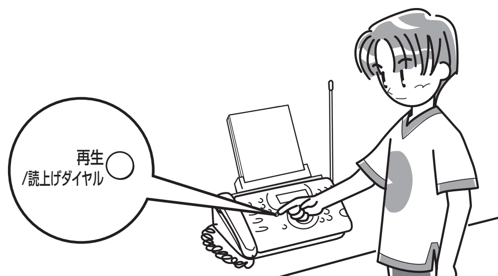
お知らせ

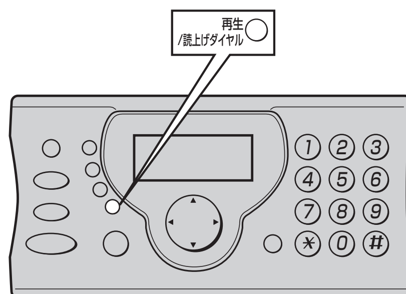
- 日付は録音されていません。
- 曜日は親機のディスプレイに表示されません。また録音もされません。
- 親機の時刻設定がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。（☞1-27ページ）
- 再生中は、親機のディスプレイに日付と時刻が表示されます。
- 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
- 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。



録音内容を再生する

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。





親機で録音内容を再生する

受話器を置いたまま操作します。

1 **再生/読上げダイヤル ○ を押す**

〈 2月27日 4：45PM〉
1ケンメ サイセイ中

録音された日時が表示されます。

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**

 を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、# を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、再生/読上げダイヤル ○ を押す（速くなる）

もう一度、再生/読上げダイヤル ○ を押す（遅くなる）

もう一度、再生/読上げダイヤル ○ を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、＊ を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、＊ を2回続けて押す

今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して ＊ を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3秒以上再生したあと、＊ ボタンを2回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

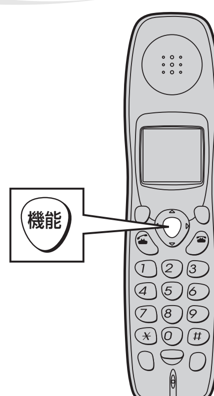
聞きたい録音まで戻すときは、さらに ＊ をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

1つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。





 子機で録音内容を再生する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を2回押す



- 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約３秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（４件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**

（切）を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、（6）を押す

早聞きするときは

再生中に、（9）を押す

もとに戻すときは、もう一度、（9）を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、（5）を押す

１つ前の録音に戻すときは

再生中に、（5）を２回続けて押す

今聞いている録音の１件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して（5）を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

３秒以上再生したあと、（5）ボタンを２回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに（5）をくり返し押す　１つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

呼出音が聞こえ再生が止まります。このあと（通話）を押すと通話できます。

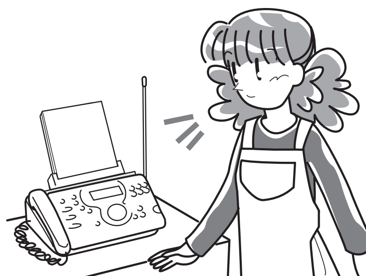
 お知らせ

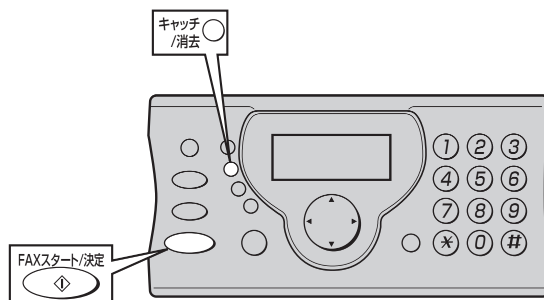
- 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
- 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
- 親機の時刻設定がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。（☞1-27ページ）

録音内容を消去する



一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。





 録音を1つだけ消す

受話器を置いたまま操作します。

1 消したい録音を再生中に キャッチ/消去○ **を2回押す**

1ケンメ　ショウキョ　シマシタ

 一般録音をすべて消す

1 キャッチ/消去○ **を押す**

イッパ゜ン　ロクオン　ショウキョ

2 FAXスタート/決定 **を押す**

ショウキョ　シマシタ

■ **親機のメモリーの使用量を確認するときは（メモリー使用量表示）**

① 登録/機能○ を押す

② # を4回押す

③ FAXスタート/決定 を押す

④ ▲または▼で「カクニン」を選び、FAXスタート/決定 を押す

⑤「メモリー　シヨウリョウ」を選び、FAXスタート/決定 を押す

メモリーシヨウリョウ　　10%

⑥ 停止 を押す（待機画面に戻ります）



自分で応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます。（オリジナルメッセージ）
録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

応答メッセージを録音する



1 登録/機能 を押す

〈トウロク／キノウ〉
1：ショキ　トウロク

2 ▲ または ▼ で「ショウサイセッテイ」を選び、FAXスタート/決定 を押す

〈ショウサイ　セッテイ〉
1：ナンバ゛ーデ゛ィスプ゜レイ

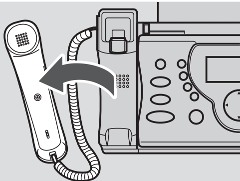
3 ▲ または ▼ で「オウトウメッセージ」を選び、FAXスタート/決定 を押す

〈オウトウメッセージ゛〉
1：ロクオン

4 「ロクオン」を選び、FAXスタート/決定 を押す

オリジ゛ナル　　ロクオン

5 受話器を取る

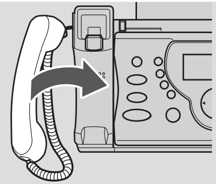


6 FAXスタート/決定 を押してから、受話器で応答メッセージを話す



応答メッセージの例
「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

7 録音が終わったら 停止 を押してから、受話器を戻す



●録音したメッセージを再生します。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**
録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージを選ぶときは（☞5-2ページ）**

■ **応答メッセージの内容を聞くときは**
手順4で「サイセイ」を選び、FAXスタート/決定 を押します。
固定メッセージが再生されたあと、続けてオリジナルメッセージが再生されます。

■ **応答メッセージを消すときは**
① 手順4で「クリア」を選び、FAXスタート/決定 を押す
② もう一度 FAXスタート/決定 を押す

お知らせ

● 応答メッセージを設定していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。（☞5-3ページ）記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。